

働く男のライフスタイル情報紙

Biz^{LifeStyle} [ビズスタ]

2019 11

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、
京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

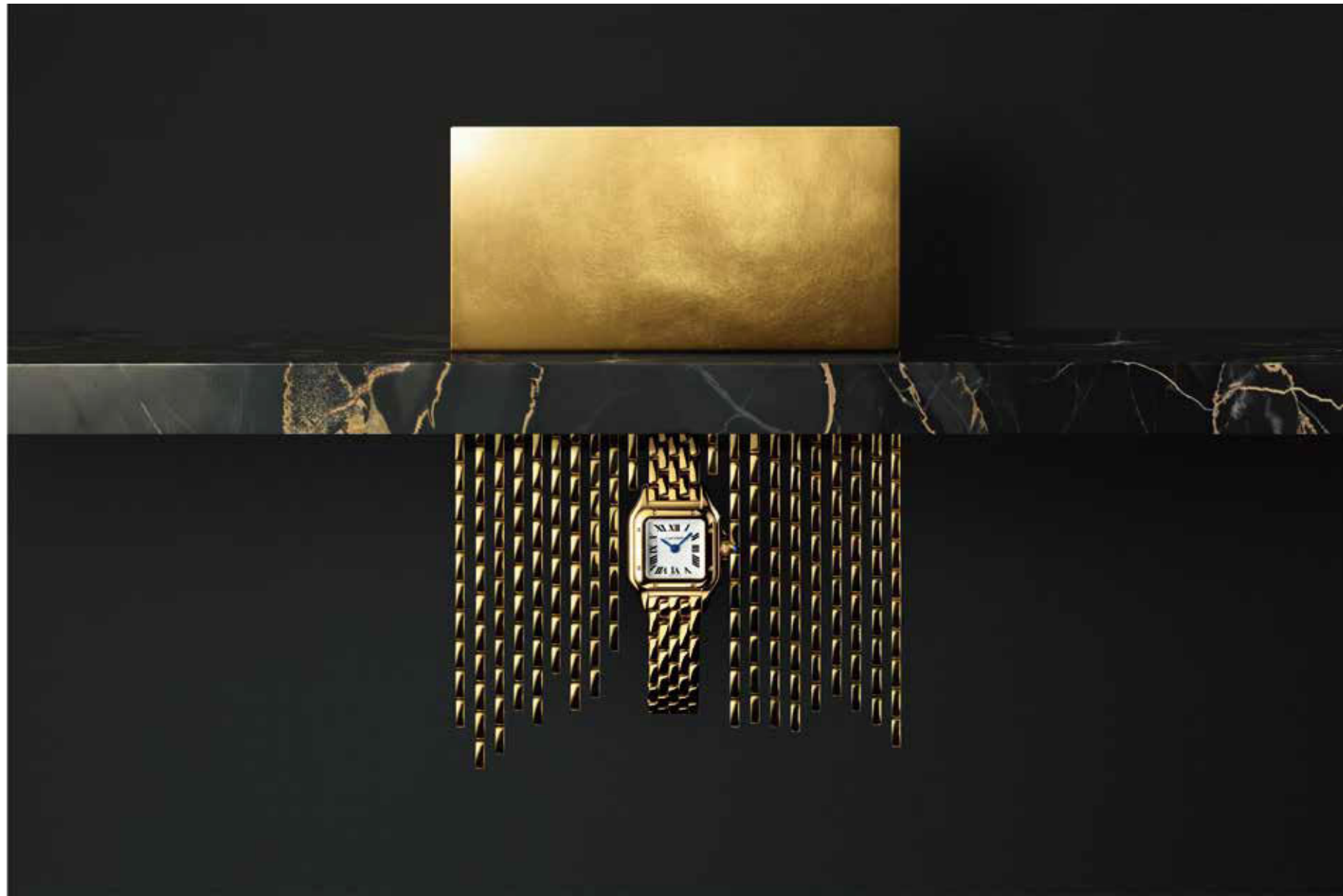
広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



THE BAIGNOIRE, A SIGNATURE WATCH

ベニユワール。美のメゾンから、エスプリが息づくタイムピース。



パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0020
Mini (25×21mm)
ピンクゴールド、ダイヤモンド
2,943,600円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0019
Mini (25×21mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
3,168,000円(税込)

ケースに施すというチャレンジングな試みも、カルティエらしさを存分に発揮するコレクションとなりました。

新作パネールを手にする、今日の目で見ても「最先端ではないか」と思えるほどの先進性に感嘆させられます。その基本デザインが百年以上も前に生まれたもので、こちらも現代まで生き続けるスクエアデザインの究極、サントスとほぼ同時代に作ったという事実には、ただただ驚きを隠せません。

性たちからは大きな反響を呼んでいます。

パンテール ドゥ カルティエの特徴は、もはやウォッチというよりもジュエリーであると感じるほど優雅な着け心地。腕に巻いた時の気品は圧巻で、フォーマルだけでなくカジュアルにも映えるワルトラフミニはエレガンス、新作コレクションでは、滑らかなブレスレット部にホリユーム感を加えたカフウォッチや、他のアイテムとの重ね着けも楽しそうなミニウォッチまで登場。後者にはサントスとほぼ同時代に作ったという事実には、ただただ驚きを隠せません。

カルティエのレディースウォッチには、さまざまな女性像が映じ出されています。ピエラで清楚に、知的でクリエイティブに、インディビジュアルに、センシユアリテイに……多様な、自分を試したくなる、現代のマスターピースたち。実際に手に取ってわたしかめ下せ。



パンテール ドゥ カルティエ
CRWGP00008
SM (30×22mm)
イエローゴールド
2,244,000円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRW3PN0006
SM (30×22mm)
ピンクゴールド、スチール、ダイヤモンド
1,254,000円(税込)



ベニューワール アロンジェ
CRWJBA0007
MM (47×21mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
4,818,000円(税込)



ベニューワール アロンジェ
CRWGBA0010
XL (52×23mm)
ピンクゴールド
3,841,200円(税込)



ベニューワール
CRWJBA0015
SM (32×26mm)
ホワイトゴールド、ダイヤモンド
3,630,000円(税込)



ベニューワール
CRWGBA0007
SM (32×26mm)
イエローゴールド
1,280,400円(税込)



1847年、腕利きの宝石細工師だったルイ・フランソワ・カルティエがパリの街角に構えた工房で歴史の幕を開けた「カルティエ」は、当時も王侯貴族や社交界で輝くセレブリティたちから絶大な信頼を勝ち得るハイジュエリーメゾン。実に160年を超えるその「美」の足跡は、常に時代を先取るバイオーテ精神に満ちたストーリーに彩られています。

女性たちが腰を締めつけるコルセットから本格的に解放され始め、アールヌーヴォー、アールデコへと移る芸術性の成熟に建築界や工業デザイン界が沸いた、19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパ。至高とも言えるジュエリーの発表を重ねながら人々の美意識を育て、やがて訪れる女性の時代をも先導したカルティエは、実は時を同じうしてさまざまな業界で新風を吹き込んでいました。

分野は多岐にわたり、その代表がウォッチでした。時を知らせる機械だった腕時計を、オーナーの自己表現の場へと変貌させてしまったのです。

一度見たら忘れない橋田の美 伝説の名コレクションが突如復活

著名な飛行家からフライト中に操縦棒から手を離さずには時刻を確認したいという相談を受け、懐中時計を腕に巻くスタイルを着想した3代目ルイ・カルティエは、1904年に伝説の「サントス」を制作。実用性と美観を兼ね備えた「腕時計」という新たなジャンルを開拓したメゾン・カルティエは、その発想の翼をレディー・ウォッチの世界へと広げます。

現代アートを思わせる見事な橋田形のデザインを実現した「パネール」は、1912年に誕生しました。西洋浴槽を意味するネーミングは、マリ・アパヴェ・ロナ公爵夫人が名付けたものとされています。フェミニンな世界観を描き切った大胆かつ上品なラウンドフォルムは、当時の高感度な女性たちのアンテナをおおいに刺激、時代の流行にとわれ過ぎず、自由と洒脱さを愛する彼女たちのライフスタイルを表現するアイデアとして、世界中を魅了しました。「一度見たら忘れないオーバルシェイプ」は、カルティエのアイコンのひとつへと昇華。世の女性たちの憧れのウォッチとして、その後も発展を続けることになりました。

2つの伝説的レディースウォッチが それぞれ新作コレクションを発表

「パネール」と「ベニューワール」は、1912年に誕生しました。西洋浴槽を意味するネーミングは、マリ・アパヴェ・ロナ公爵夫人が名付けたものとされています。フェミニンな世界観を描き切った大胆かつ上品なラウンドフォルムは、当時の高感度な女性たちのアンテナをおおいに刺激、時代の流行にとわれ過ぎず、自由と洒脱さを愛する彼女たちのライフスタイルを表現するアイデアとして、世界中を魅了しました。「一度見たら忘れないオーバルシェイプ」は、カルティエのアイコンのひとつへと昇華。世の女性たちの憧れのウォッチとして、その後も発展を続けることになりました。

My Favorite Life Style



サントス デュモン
CRW2SA0012
SM (38×27.5mm)
ピンクゴールド、スチール
577,500円(税込)



サントス デュモン
CRWSSA0023
SM (38×27.5mm)
スチール
407,000円(税込)



『サントスドゥカルティエ』は、まさにウオッチメゾンとしての『カルティエ』の原点ですが、その革新性はオリジナルの誕生から115年を経た今も揺らぎません。「時の試練」を超越する普遍性は、『ペニユール』や『パンテールドゥカルティエ』にも共通するカルティエの真髄といえるでしょう。

スデュモンが登場。約6年間の連続作動能力を誇るクォーツムーブメントの採用にも注目を。誕生の経緯から、常に実用性が主題のひとつとなってきたサントスだけに、従来の倍にあたるという能力向上は特筆すべき進化といえます。



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ
CRWSSA0017
XL (51.3×43.3mm)
スチール、ADLC
1,003,200円(税込)



サントスドゥ カルティエ クロノグラフ
CRWGSA0017
XL (51.3×43.3mm)
ピンクゴールド
2,904,000円(税込)

Maud Remy-Lonvis © Cartier

Laziz Hamani © Cartier

Vincent Wulverryck © Cartier

掲載した商品の価格は令和元年10月20日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

神戸・カミネで、一年のご褒美を。11月23日から12月27日まで、クリスマスシーズンにぴったりの「カルティエフェア」を開催。



Since 1906 Kobe
kamine
Fine Jewelry & Watches

カミネ トアロード本店
神戸市中央区三宮町3-1-22
TEL.078-321-0039 営業時間/10:30~19:30

老舗ひしめく神戸・元町のトアロード。創業113年を超える信頼と実績を誇る「カミネ トアロード本店」では、毎年クリスマスシーズンに特別なフェアを実施中。カルティエカラーでビルを美しく彩るライトアップとともに、神戸の冬の風物詩ともなっている。

今年は、フェア初日の11月23日(土祝)に、フレンチレストラン「イクレックベガ」を貸し切るスペシャルイベントの開催も決定。カルティエの世界観に満たされたラグジュアリーな空間の中で、本紙掲載コレクションの実物を味わうチャンスだ。なお、フェアの期間中は特典も用意されるので、ぜひ訪問を。



取り扱いブランド

カルティエ、パテック フィリップ、ハリー・ウィンストン、ブルガリ、ショパール、ダミアニ、ポメラート など

www.kamine.co.jp

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp